

愛・地球博(愛知万博)開幕です！

この3月25日、愛・地球博(愛知万博)が9月25日までの会期で開催となりました。マンモスの展示される「グローバルハウス」やロボットが演奏をする「トヨタグループ」館などが話題を呼び連日TVなどで紹介されていますが、すでに足を運ばれましたでしょうか？

弊社も施工させていただいたものがあります。長久手会場の西端に位置する「遊びと参加ゾーン」にJAグループ愛知さんが出展されている、「わんバク宝島」館の2階部分の温室及び栽培システムがそうです。写真でみるようにモスラを思わせるユニークな外観

の温室は、トラス構造(バイオトラス)で設計されています。内部には愛知県農業総合試験場さんの指導により「食用ホオズキ」を育てています。観賞用ホオズキとは異なる品種で、欧州では盛んに生産されています。袋内につく指先大ほどの黄色の実を食べますが、フルーティーな強い香りと独特の甘酸っぱさが特徴です。主にレストランなどでデザートとして使われており、外国ではスーパー等の店頭でも販売されています。今はまだ青い実がほとんどですが、完熟すれば黄色になってきます。栽培はロックウール使用の点滴灌水方式で、エアコンと

加湿器による地上部環境制御も組み込まれています。子供連れで楽しめるパビリオンですので一度覗いてみてください。

その他植物に携わる我々として興味を引かれるものに、「センターゾーン」に設置された高さ15m長さ150mの緑の壁「バイオ・ラング」がありますし、自然との調和を考慮した会場づくりなど、従来の博覧会とは趣の違う感じがあります。35年ぶりに日本開催となった万博へ、ご家族お揃いで出かけられてはいかがでしょうか。

(担当 村瀬圭一)



「バイオ・ラング」



「わんバク宝島」館栽培室外観



「わんバク宝島」館栽培室内部



育てている「食用ホオズキ」